



パリ、フランスへの憧れ



7.18 - 9.22

小磯良平作品選Ⅱ

終戦75年

従軍画家・小磯良平が見たもの



上：西村功《メトロホームの人たち》1990年
下：小磯良平《翼「新女郎」表紙画》1940年頃
小磯良平《兵士D》1938-41年頃

神戸小磯記念美術館
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中5-7(六甲アイランド公園内)

OPEN | 10:00-17:00 (最終入館16:30)
CLOSED | 毎週月曜日 Every Monday (8/11休館、8/10、9/21閉館)



文化・芸術の一大中心地であるフランスは、近代以降、多くの日本人画家を魅了してきました。西洋美術の研究に熱心であった小磯良平は、1928-30年と1960年の2度、パリに長期滞在しています。本展では、小磯や神戸にゆかりのある画家ら10数名の滞仏作品などを一堂に紹介します。



● 中野利雄「フランス風景」1929-30年頃
● 林豊典「モンマルトル」1930年
● 小磯良平「オーヴェルン風景」1960年

● 高野伸太郎「踊り手C」1924年
● 三木繁太郎「カーニバル風景」1927-31年頃
※すべて神戸市立小磯記念美術館蔵

終戦75年

従軍画家・小磯良平が見たもの

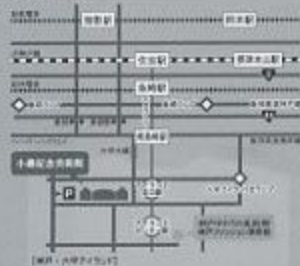


優れた素描力を持つ小磯良平は日中戦争・太平洋戦争中に軍部からの要請で計4回従軍し、作戦記録画(戦争画)などを描きました。終戦75年の夏を迎えることを機に開催する本展では、小磯の戦前・戦中・戦後期に焦点を当て、初公開の兵士素描を含む作品や資料で激動の時代をふりかえります。



● 小磯良平「(東西)大群像」1944年
● 小磯良平「月夜」1939年
● 小磯良平「(西)1948-51年頃
● 小磯良平「二人の少女」1946年
● 小磯良平「(西)の兵士」1942年

交通案内



神戸市立小磯記念美術館
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中5-7
[六甲アイランド公園内]

〔電車〕JR住吉駅、阪神島崎駅のりかえ六甲ライナー「アイランド北口(小磯記念美術館前)駅」下車すぐ

〔バス〕阪急「御影駅」「岡本駅」南側よりみなど観光バス12系統「ウエストコート3番街筋」下車

入館料

一般|200(160)円 大学生|100(50)円 ※1日以内は30名以上の団体料金
高校生以下|無料 ※学生証、生徒手帳などを提示ください
神戸市内在住で65歳以上の方|無料 ※住所・年齢がわかるものをご提示ください
障がい者手帳など持参の方|無料 ※詳しくはお問い合わせください
神戸ゆかりの美術家、神戸ファッション美術館の当日祭(手帳)をお持ちの方は割引を受けられます

イベント案内

※会期中のイベントについては、美術館の公式HPをご覧ください。
お問い合わせ先 TEL|078-857-5880



美術館公式HP